



公益社団法人

茨城県理学療法士会

Ibaraki Physical Therapy Association

茨城県理学療法士会公益社団法人移行祝賀会が開催されました！

特定事業局 次長 後藤吾郎（筑波記念病院）

2013年7月20日（土）に茨城県保健衛生会館にて盛大に茨城県理学療法士会公益社団法人移行祝賀会が開催されました。私は準備委員長補佐・特定事業局次長という立場で今回の祝賀会に関わらせて頂きました。

このような歴史的な瞬間に立ち会うことが出来たのも、今まで士会活動を支えてこられた諸先輩方のお力添えがあったからと考えています。さて、祝賀会当日はどのような状況だったのでしょうか。

茨城県保健衛生会館という所は水戸市にあります。この建物には茨城県看護協会が入っており、当士会も昨年度より同じ建物内に事務所を構えています。また本年度からは作業療法士会・言語聴覚士会も同じく事務所を構えました。このように同じ箇所に事務所を構えるケースは全国的にも前例が無いと聞いています。その建物の4階に大研修室と呼ばれる部屋があり、普段はその名の通り研修等で使用するのですが、今回そこを祝賀会会場として使用させて頂きました。1階に受付を設け、多くの病院・施設の皆様に当日スタッフとしてご協力を頂きながら、来賓の方々をお迎えしました。橋本茨城県知事をはじめ、半田日本理学療法士協会長、高橋水戸市長、関東甲信越ブロック関連団体代表者、県内関連団体代表者、そして参議院選挙直前にも関わらず、衆参問わず茨城県選出の多くの代議士の先生方にお越し頂きました。

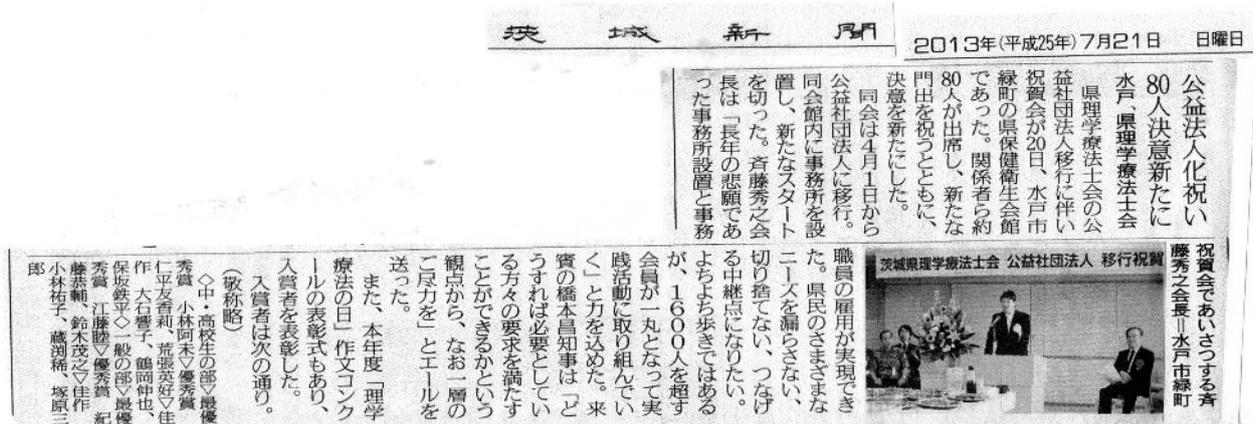
祝賀会はずまず齊藤会長より挨拶があり「（公益社団法人に移行するにあたり）我々は色んな意味で大人の集団にならなければならない。その為の決意表明の日である」と話されました。続いて来賓の方々からは「広く茨城県民の健康を守るために茨城県理学療法士会の存在は大きく、これからの益々の発展に期待している」とお話頂きました。その後公益社団法人移行に際してご尽力頂いた多くの方々に対して当士会より感謝状を贈呈しました。

乾杯をした後、当日スタッフを含めて約100名の方々が祝賀会会場に集まり、懇談会となりました。理学療法士の先輩方からは今までの理学療法の歴史についてお話を頂き、代議士の先生方からはこれからの理学療法に対する期待の話を頂き、我々の責任の大きさを再認識する形となりました。懇談会の中では当士会の歴史を綴ったDVDを上映しました。DVDの中では茨城県リハ3士会連絡協議会設立、北茨城地域自立支援センター開設、訪問リハビリテーションサポートセンター開設といった最近の動向についても案内しました。

その後閉会となるのですが、自宅に帰ってから改めて「公益社団法人」について調べてみました。大辞泉には「一般社団法人のうち、公益法人認定法に基づいて、行政庁から公益性を認定された社団法人。公益を目的とする事業は非課税となるなど、税制上の優遇措置を受けることができる」と書かれており、「公益」を調べてみると「社会一般の利益。公共の利益。対義語は私益」と書かれていました。

つまり当士会は「茨城県民を中心とした社会一般の利益に対し、今まで以上に努力が必要な団体になった」ということとなります。士会員の方々には今回を機にその意味を改めて考えて頂き、一緒に当士会を盛り上げていきましょう！

祝賀会の様子が茨城新聞に掲載されました！



目 次

1. 茨城県理学療法士会公益社団法人移行祝賀会が開催されました！	1
2. 各種事業報告	3
3. 各部局からのお知らせ	6
4. 土会・協会主催研修会	16
5. 各種研修会・イベントの案内	26
6. 求人広告	30
7. 異動・休会・復会・退会等の手続きについて	31

2.各種事業報告

第40回定時総会報告

倉田俊洋（いちほら病院）

2013年6月30日、茨城県立医療大学に於いて公益社団法人茨城県理学療法士会第40回定時総会が開催されました。

最初に斉藤秀之会長より、昨年度の公益社団法人への移行や、本会事務所の移転、地域自立センター開設等の士会事業全体について、今期の展望をふまえた事業総括がありました。その後、昨年度の収支決算、監査報告等の議案について採決が取られ、賛成多数によりすべて承認されました。その他、本会シンボルマークの新設、ロゴマーク変更等の報告がありました。

総会を通じて、新しい事業のなかで変革、発展しつつある士会を改めて感じることができました。同時に、士会運営にあたり様々な課題があることもまた、実感しました。自分が一士会員として何ができるのか、見つめ直す良い機会となったと思います。

平成24年度茨城県理学療法士会表彰式報告

倉田俊洋（いちほら病院）

2013年6月30日、茨城県立医療大学に於いて表彰式が開催されました。

【茨城県理学療法士会 功績賞】

水上 昌文 氏	茨城県立医療大学
伊藤 ひとみ 氏	自宅
小林 和彦 氏	筑波技術大学
竹本 一仁 氏	龍ヶ崎済生会病院
佐藤 正一 氏	水戸メディカルカレッジ
相田 衣子 氏	茨城県立こども福祉医療センター
山本 泰三 氏	JAとりで総合医療センター（2013年3月退職済み）
石井 篤 氏	宮本病院

【茨城県理学療法士会 功労賞】

沼尻 一哉 氏	茨城西南医療センター病院
---------	--------------

【第16回 茨城県理学療法士学会 学会賞】

西潟 巨 氏	介護老人保健施設サン・テレーズ
--------	-----------------

受賞者の皆様、おめでとうございます。



平成 25 年度 新人歓迎会報告

厚生部長 青木葉尚子（笠間市医師会訪問看護ステーションふきのとう）



6月30日(日)研修終了後、茨城県立医療大学食堂にて新人歓迎会を開催いたしました。62名（新人38名、一般24名）の参加があり、盛大に行われました。

毎年恒例のゲームは、「文章作りゲーム」と題し、グループに分かれて面白い文章を作成し理事の先生方の採点で競いました。理事の先生方の冷静な分析による採点コメントが印象的でした。また、閉眼片脚立位で会長賞を決定し、笑顔の多い和やかな会となりました。

施設ごとの新人自己紹介では、自己紹介にとどまらず、職場のアピールをする先生方も多く、新人らしからぬ落ち着きぶりに驚かされました。今後のご活躍を期待しております。

今期より、厚生部メンバーも新しくなりました。これまで以上に会員の皆様の福利厚生のお役に立てよう、厚生部一同、努力していきたいと思っております。イベントへのご参加、ご支援の程よろしくお願いたします。

平成 25 年度 研修会報告

	テーマ	講師	参加者
<u>6月30日</u>	<u>会場：県立医療大学</u>		
第8回	クリニカルリーズニング	岩本浩二先生（茨城県立医療大学）	206名
第9回	神経系疾患の理学療法	水上昌文先生（茨城県立医療大学）	274名
第10回	高齢者の理学療法	浅川育世先生（茨城県立医療大学）	220名
第11回	理学療法士のための医療政策論	斉藤秀之先生（筑波記念病院）	180名
<u>7月21日</u>	<u>会場：協和中央病院</u>		
第12回	症例報告・発表の仕方	鈴木康文先生（つくば国際大学）	114名
第13回	社会の中の理学療法	村田康成先生（石岡循環器科脳神経外科病院）	123名
第14回	ティーチングとコーチング	福山勝彦先生（つくば国際大学）	165名

傳田理絵（茨城西南医療センター病院）

平成25年第8回研修会は、茨城県立医療大学の岩本浩二先生にご講義頂きました。「クリニカルリーズニング」というテーマのもと、基本概念や臨床の場で重要なことなどを説明して下さいました。

クリニカルリーズニングとは、対象者の訴えや症状から病態を推測し、対象者に最も適した介入を決定していく一連の過程を指します。そのためには動作を基軸としたリーズニングの展開が重要とされており、動作観察・分析による鑑別と判断を繰り返すことで根拠に基づく個別的な介入を選択していくことが可能となります。実際に対象者と向き合っていくなかで、なぜできないか？

どうしたらできるようになるか？を常に自問自答していくことが大切で、自分の立案したプログラムを実施して満足するのではなく、仮説に対する検証を繰り返していくことが必要なのだと改めて感じまし



た。そして現状での問題にばかりとらわれずに、最終的には自分たちの介入が予防と社会参加につなげることができるように、対象者自身が理解し気を付けられるように、お互いが同じ目標に向かっていけるような介入を決定していけるように努めていきたいと思いました。



根本和毅（いちほら病院）

第9回研修会では、神経系の専門理学療法士である水上昌文先生より、脊髄疾患について講義していただきました。

脊髄障害では残存機能評価や神経学的回復の予測を知り、どの程度の動作・ADLが可能であるかを予後予測していくことが大事であるとおっしゃっていました。

脊髄に起因する麻痺の本質は、相反神経の乱れによるものであり、相反神経の正常化を目指した運動療法を行うことが必要です。徒手的にできる運動は、自動介助運動・促通運動・筋力強化などがあると思います。現在ではHALなどのロボットを使い、正常な動きを引き出していくトレーニングもあるとのことでした。

私達が患者様を治療してくうえで脊髄疾患に限らず、予後予測は必要不可欠であります。今回、相反神経に対して治療していくことが重要であると学ぶことができ、大変有意義な講義となりました。



大久保篤（いちほら病院）

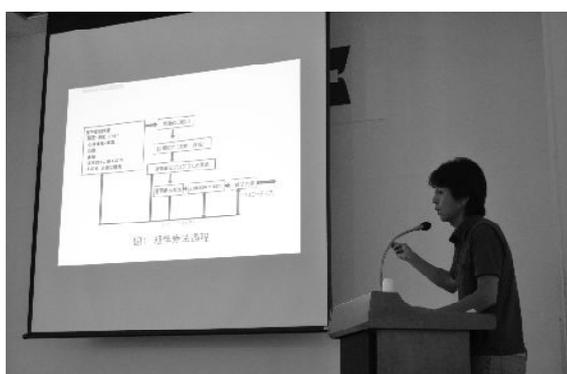
6月30日に行われた平成25年度第10回・11回研修会に参加させていただく機会を得ました。

浅川育世先生には「高齢者の理学療法」としてご講義頂き、我々が臨床において多く接する高齢者についてその特徴や注意点などをご提示いただき、今後に生かせるよう努力したいと思いました。

斉藤秀之先生には、「理学療法士のための医療政策論」について、基本的な内容からご講演いただきました。

政策過程や政治過程など一般政治におけるワードを、実際の臨床や職場での話に例えながら話していただくことにより、一見難解そうな言葉を自分で噛み砕きながら理解することが出来ました。

理学療法業界の今後の政策方針についての話もあり、今後はリハビリ業界が行う政治活動に興味を持つことから始め、他人事にせず情報を逃さない姿勢が大事ではないかと感じました。



宮内勝士（鹿島病院）

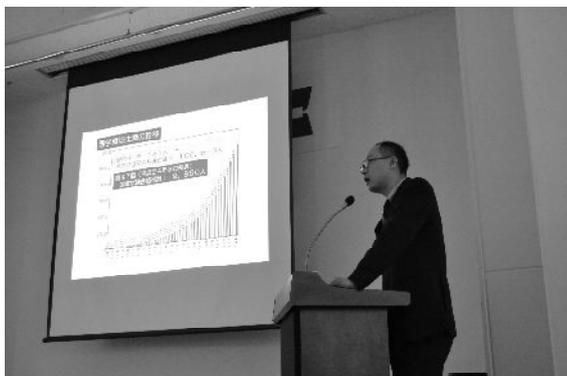
私は院外で症例発表・報告というものをしたことがなく、どんな症例をどのように発表するべきかという事をほとんど知識がない状態で平成25年度第12回研修会に出席させていただきました。

今回の講義では症例発表でどのような症例を報告すべきなのか、どうすれば読み手に配慮をした発表の形式になるのかなどを学ばせていただきました。

症例報告では稀な症例やその症例に対しよい結果が得られたようなアプローチ法をのせたほうがよいという事、

対照群を配置し無作為法や二重盲検法を行ったほうがよいという事、「三た主義」は慎んだほうがよいという事などを知りました。また、発表の場では表を用いるよりもグラフを使用したほうが読みやすくインパクトがある事や目的をはっきり明示しないと、そもそも読んでもらえないかもしれないというなどという、読み手への配慮の仕方を学びました。

今後、症例発表・報告をする際には今日学んだことを思い返し、読み手に配慮をした報告書の作成・発表ができるよう努めていきたいと考えております。



倉持直人（茨城西南医療センター病院）

平成 25 年度第 13 回研修会は、「社会の中の理学療法」というテーマのもと石岡循環器科脳神経外科病院の村田康成先生にご講義頂きました。

理学療法士の社会的責務や、将来の方向性、地域での役割について学び、職業人としての理学療法士のあり方を認識することができました。また、社会に承認される理学療法を提供するためには、専門性を高めることや領域の拡大とともに理学療法士の資質が必要で、患者様と「喜び・感動」を共有できることや、向上心・情熱を持ち、相手のことを真剣に考える誠実さや優しさを兼ね備えていることが重要だと分かりました。

日々の業務において、医療職だからという意識ではなく、ひとりの人間として常に相手の立場となり、公正・公平な態度で患者様と接することのできる理学療法士になりたいと思います。



神林亮太（いちほら病院）

協和中央病院で開催されました平成25年度第14回研修会に参加してきました。今回のテーマは「コーチングとティーチング」についての講演でした。

今回の講演ではコーチングとティーチングの違いをはじめ、指導者と学生、理学療法士と患者様とのコミュニケーションといったことを学ばせてもらいました。なかでもコミュニケーションでは「環境設定」「傾聴」「承認」「質問」「提案」と5つの基本スキルの重要性を改めて学ぶことができました。患者様の話に耳を傾け、共感を示すことや相手の意見に対して提案することはラポール形成へと繋がる。とのことでした。自らの考えや意見を一

方的に相手へ伝えるのではなく、相手の意見や考えを受け入れることの大切さを学ぶことができました。

臨床現場で活躍するにあたり、患者様のみならず他職種とのコミュニケーションは大切なものです。リハビリにおいても患者様との関係を上手く築きあげ、より効果的なりハビリを提供できるように心がけていきたいです。

3. 各部局からのお知らせ

<総務部より>

総務部長 大地寛（株日立製作所 日立総合病院）

公益社団法人 茨城県理学療法士会 平成25年度第2回臨時理事会

日時：平成25年6月30日 15:45～16:00

会場：茨城県立医療大学 大講義室

出席者：齊藤秀之、大曾根賢一、沼尻一哉、金子哲、大地寛、高橋晃弘、石塚保土、

倉持修、浅野信一、直井洋明理事、黒澤保壽、橋本英之監事

議長： 齊藤秀之理事

議事録作成にかかわった理事：大地寛

1、第40回定時総会終結のときから任期がはじまる業務執行理事の選任に関する件

第40回定時総会において当該総会終結のときから任期が始まる理事が承認されたことを受けて、定款第20条の業務執行理事として以下の者を提案します。

会長： 齊藤 秀之
 副会長： 大曾根 賢一
 副会長： 沼尻 一哉
 副会長： 金子 哲
 常任理事： 大地 寛

⇒承認

2、局長、部長、委員長の選任に関する件：

平成25—26年度 公益社団法人茨城県理学療法士会 局長、部長、委員長名簿

役職名	氏名	所属	備考
事務局長	金子 哲	水戸赤十字病院	副会長
総務部長	大地 寛	(株)日立製作所 日立総合病院	常任理事
庶務部長	高橋 千晶	水戸済生会総合病院	
財務部長	中山 陽介	茨城西南医療センター病院	
厚生部長	青木葉 尚子	訪問看護ステーションふきのとう	
就業支援部長	関口 春美	アール医療福祉専門学校	
学術・教育局長	富田 和秀	茨城県立医療大学	
学会・研究部長	倉持 修	会田記念リハビリテーション病院	理事
学術誌部長	高尾 敏文	つくば国際大学	
生涯学習部長	千葉 浩市	つくばセントラル病院	
卒前教育部長	浅野 信一	つくばセントラル病院	
社会・職能局長	沼尻 一哉	茨城西南医療センター病院	副会長
公益事業推進部長	村田 康成	石岡循環器科脳神経外科病院	理事
地域医療福祉推進部長	所 圭吾	自宅会員	
渉外部長	直井 洋明	土浦市役所	
業務推進部長	岸 昭博	小山記念病院	
広報局長	高橋 晃弘	アール医療福祉専門学校	理事
会報編集部長	森田 英隆	いちはら病院	
情報システム部長	富澤 将人	牛尾病院	
理学療法啓発部長	峯岸 忍	筑波メディカルセンター病院	
特定事業局長	石塚 保土	自宅会員	理事
委員会担当理事	大曾根 賢一	筑波メディカルセンター病院	副会長
定款組織検討委員長	浅川 育世	茨城県立医療大学	25年度まで
表彰委員長	前田 信道	JAとりで総合医療センター	
国体参画・スポーツ支援 検討特別委員長	鈴木 康文	つくば国際大学	
政治参加検討特別委員長	國谷 伸一	立川記念病院	
選挙管理委員長	橋本 貴幸	土浦協同病院	

⇒承認

平成25年度 第1回業務執行理事会 議事要旨

日 時：平成25年8月3日 17:30～21:00

場 所：筑波メディカルセンター病院 リハビリテーション室

出席者：斉藤秀之会長、大曾根賢一副会長、沼尻一哉副会長、金子哲副会長、大地寛常任理事、平田清次総務部次長、近岡由美子総務部員

【議題】

1、斉藤会長：(1) 北茨城地域自立支援センターについて当該地域において周辺医療機関等からの依頼に基づき、退院前訪問指導、デイケア、デイサービスを受託する。受託料金等は周辺でのデイケア、デイサービスのサービス費や退院前訪問指導料を参考に、同センター管理運営会議で協議する。

(2) 健全な士会運営のため士会収支状況を業務執行理事会で確認出来る資料提示を事務局に要望した。

(3) 次年度診療報酬改定の動きに伴い、理学療法士の卒後教育、とりわけ職場教育体制を国から期待されている。

(4) 第17回茨城県理学療法士学会(2月9日)第1回運営委員会を開催し、大きな方向性を確認した。第18回理学療法士学会は次年度夏ごろ開催とするため、同時に準備を進めていくこととした。

(5) 各種団体等から公益社団法人移行式典についてお褒めの言葉を多く頂いている。

(6) 平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業の事前申請について準備している。

2、大曾根副会長：事務所機能の強化について

(1) 新たな事務職員の雇用：嘱託も含め、できれば10月から経理担当職員を雇用する方向で早急に検討する。また、本会の情報システムを管理する担当職員の雇用も検討する。

(2) 事務職員への業務移管：各部より移管できる事務的業務の調査を実施した。今後、大曾根副会長、金子副会長、高橋庶務部長、河野伸子職員の間で移管業務について協議する。

3、沼尻副会長：圏域ブロックの件について、8月30日に取手・龍ヶ崎地区での説明会を予定。また10月には県北地域での説明会を予定する。

4、金子副会長：団体補償保険の見直しについて、現在は役員および会員が参加する事業について保険に加入しているため、会員数の増加と学会、研修会の参加者数の増加に伴い保険料が上昇している。そこで保険料を見直し、事業の運営に当たる役員と部員、公益事業における一般参加者について保険に加入する方向で検討する。

5、大地常任理事：政治参加検討特別委員会、スポーツ支援・国体参画検討特別委員会の設置等に伴う職務分掌規程の改正(最終案)、災害対策マニュアル(概要)最終案の提案。

<庶務部より>

庶務部 高橋千晶(水戸済生会総合病院)

会員情報で変更がありましたら、速やかに届出をお願いします。

また、施設情報の変更の場合にも同様に届出が必要となりますのでよろしくお願い致します。

日本理学療法士協会 Web のマイページから行うことを推奨します。

<<重要>>紙申請の廃止について

協会のシステム整備によって、各種申請がWEBから実施できるようになり、全体の申請の7割がWEBから申請が行われている現状があります。

そこで、士会業務の軽減・迅速化、経費の削減のため等、紙申請を廃止することが、日本理学療法士協会理事会で承認されました。

詳細は以下の通りになります。

【廃止される紙申請の内訳】

入会申請、異動申請、休会申請、退会申請、復会申請

【紙申請廃止日】

平成25年12月末日

【WEB申請できない方への対応】

廃止日(平成25年12月)以降、WEBの環境がないなど、紙面申請しかできない会員の対応については、日本理学療法士協会事務局へご連絡いただき、協会から用紙を個別にお送りします。

2.学術誌、学会誌の公開について

会員に情報公開として、関連団体より届いている学術誌・学会誌および各都道府県士会のインフォメーションを閲覧できるようになりました。

日時は限定されておりますが、ご利用ください。

公開資料	：学術誌・学会誌および各都道府県士会のインフォメーション
公開時間	：火・木（祝日除く）14:30～16:30
公開場所	：茨城県理学療法士会水戸事務所 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号 茨城県保健衛生会館内

<2013年6月1日～2013年7月31日届いている学術誌・学会誌>

東京都理学療法学会抄録集（東京都理学療法士会）、理学療法沖縄 2012（沖縄県理学療法士協会）、理学療法学 Vol.40（日本理学療法士協会）、理学療法学会誌 Vol.25（愛知県理学療法士会）

<地域医療福祉推進部より>

平成 25 年度 茨城県看護協会「まちの保健室」との共同事業開始

地域医療福祉推進部長 所圭吾（茨城県理学療法士会）

今年度の茨城県看護協会「まちの保健室」との事業が、鹿行地区・水戸地区を皮切りに始まりました。今年度の事業では、これまでより更に地区会員のお力をお借りし、地域に根差した活動を実施していく予定です。特に今回実施しました2つの事業は、年複数回定期的に行っていく事業です。本事業を含め、県内各地の事業におきましても、各地区の会員の皆様のご支援・ご協力を今後もよろしくお願いいたします。

●平成 25 年度第 1 回（水戸地区）

期日：平成 25 年 6 月 27 日（木）11:00～12:00

場所：茨城県保健衛生会館

内容：体力測定・リハビリ相談

担当：社会機能局：渡邊勸 氏 水戸地区会員：打越俊幸 氏、小西功人 氏、本橋寛樹 氏

参加者：24 名（シルバーリハビリ体操教室参加者対象）

<まちの保健室事業に参加して>

地域医療福祉推進部 渡邊勸（介護老人保健施設桜の郷敬愛の杜）

茨城県看護協会主催のまちの保健室事業は、地域高齢者の介護予防、健康増進事業を積極的に実施しています。本会においても、協働で地域の方々の活動を支援する活動を共に行っています。県保健衛生会館でのまちの保健室では、介護予防体操の後、参加者の方のバイタル・体脂肪測定（看護協会）、体力測定・リハビリ相談コーナー（理学療法士会）を設置し、地域支援事業の一環として活動をしています。およそ 30 名の方が参加され、介護予防体操を行っている効果を同時に知ることにつながったこと、痛みなど悩んでいることについて、理学療法士が懇切に相談に応じてくれたことに感謝のお言葉をいただきました。今回のように病院・施設の枠組みを超えた地域支援を通じ、お互いに顔が見える関係を築いていくことが、理学療法士が地域ニーズを知るために必要な事業であると感じています。

これからの課題として、スムーズな測定の進行や定期的な測定結果のフォローアップをどのようにしていくか、更に看護協会と連携しすすめていくこととなります。ぜひ多くの会員の皆様にも知っていただければ、職場教育や社会貢献の意義を考えるきっかけになると思います。

●平成 25 年度第 2 回（鹿行地区）

期日：平成 25 年 6 月 27 日（木）13:00～16:00

場所：鹿島ショッピングセンター「チェリオ」

内容：体力測定・リハビリ相談

担当：社会機能局：藤田義隆 氏、杉水流健 氏 鹿行地区会員：菅谷友美 氏、中崎正博 氏

参加者： 体力測定 22名 相談 5名

＜まちの保健室に参加して＞

地域医療福祉推進部 藤田義隆（なめがた地域総合病院）

今回は、銚田・潮来（鹿行）地区会員と合同で「まちの保健室」を運営しました。参加した部員も同地区会員だったので、実質は銚田・潮来地区会員4名の運営となりました。相談事業では、看護協会と気軽に相談者を紹介しあうことができ、協力して運営できた点がよかったです。今後はメタボ予防など指導内容についてより連携を深めたいと思います。チェリオでの「まちの保健室」は常設事業のため、定期的に参加される方があり、1件当たりの相談時間を十分にとることができます。今回は運動器に関する相談が多かったですが、様々な相談に対応できるようなスタッフ配置をすれば、適切な助言をその場で提供できるので、参加者の満足度が高まるのではないかと思います。次回からは完全に地区会員での運営となりますが、今回で円滑に実施できる手応えを感じました。銚田・潮来（鹿行）地区会員の皆様、今後の運営にご協力をお願いいたします。



第2回 高校野球メディカルサポート派遣会員研修会開催

地域医療福祉推進部長 所圭吾（茨城県理学療法士会）

昨年から開始された標記研修会ですが、今年度も夏の選手権大会予選を前に開催することができました。今回は新たに派遣会員を公募し、7名の会員が新たに登録されました。活動は、選手のみならず観客も含めたメディカルサポートや救急対応も求められ、また今後更に活動の内容を充実そして活動そのものの意義を高めるためにも、派遣会員の共通認識とサポートレベルの維持向上を図る必要性は非常に高いです。専門性を活かした活動を行い、よりよい活動ができるように取り組んでいきたいと思ひます。

日時：平成25年6月29日（土） 13:30～19:30

場所：水戸赤十字病院 リハビリテーション科 理学療法室

内容：①高校野球メディカルサポートの概要（講師：金子哲氏）

②理学療法士に必要なメディカルチェックの実際

（講師：水戸赤十字病院 第2整形外科部長 上牧裕先生）

③投球障害予測システムの紹介（講師：筑波大学 石井壮郎先生）

④サポートQ&A（コメンテーター：上牧裕先生・金子哲氏・所圭吾氏）

⑤現場での救命救急処置（講師：所圭吾氏）

⑥テーピング技術研修（講師：田村耕一郎氏）

参加：19名（経験者12名、新規派遣会員7名）

<派遣会員研修会に参加して>

清水貴憲（介護老人保健施設プロスペクトガーデンひたちなか）

私はこの春に新規派遣登録をさせていただき、本研修会に初めて参加いたしました。普段ではなかなか勉強することがない内容ばかりで、特に緊急事態や様々な状況下での対応の仕方、スポーツ障害について、その評価方法、状況に合わせたテーピングの巻き方など、たくさんの知識・技術を学ぶことが出来ました。初めてスポーツ現場に入ることには不安が多々ありましたが、研修会に参加することでスポーツ分野に今まで以上に興味を持つことができ、また不安も減りました。今後も、自分自身の視野を広げながら、現場で活躍できるよう努力していきたいと思います。



第95回全国高校野球選手権茨城大会 メディカルサポート活動報告

地域医療福祉推進部長 所圭吾（茨城県理学療法士会）

今回の高校野球選手権大会から、新規派遣会員も新たに活動に加わりました。大会序盤から猛暑で、サポートが始まる後半には熱中症の心配もされましたが、後半は一転して涼しくなりました。そのため熱中症の対応は少なかったものの、普段のメディカルチェックに加えて試合中の救急処置がいくつか報告されています。派遣会員の皆様、大変お疲れ様でした。

<活動実績>

準々決勝 7月22日（月）水戸市民球場・ひたちなか市民球場

遠藤雄嗣 氏・神宮史明 氏・田村耕一郎 氏・吉澤隆弘 氏

準決勝 7月24日（水）水戸市民球場 佐用寛文 氏・田村耕一郎 氏

決勝 7月25日（木）水戸市民球場 清水貴憲 氏・松本正孝 氏

<高校野球メディカルサポートに参加して>

遠藤雄嗣（水戸済生会総合病院）

今年度より高校野球メディカルサポートのスタッフとして活動に参加させていただいています。もともと野球をやっていたこともあり、この活動に興味があったところにスタッフ公募があり迷わず応募しました。主な活動は試合中の救急対応と試合終了後のメディカルチェックです。私は高校野球選手権茨城大会で初めて活動しましたが、自分が思っていたようにスムーズに活動を進められたわけではありませんでした。今後、活動していくにあたり自己研鑽を積んで行かなければというのが率直なところでした。メディカルサポートは2002年より始まった事業であり今後さらに発展していくことと思います。まだまだ駆け出しの身ですが、これまで携わってきた先生方が築いてきたものを、よりよい活動にしていけるよう、努力して行きたいと思います。

<その他の事業>

●研修会への講師派遣

○茨城県福祉サービス振興会主催研修会講師派遣（茨城県総合福祉会館）

「茨城県福祉用具専門相談員指定講習会・茨城県福祉用具供給事業従事者研修会」

派遣：平成25年5月19日（日）直井洋明 氏 6月9日（日）金子哲 氏

「リハビリテーションの理解と利用方法」

派遣：平成25年6月27日（木）沼尻一哉 氏

「医療サービスの選び方」

派遣：平成25年8月7日（水）所圭吾 氏

●世話人派遣等

○「茨城県回復期リハビリテーション病棟の会」への協力事業

・平成 25 年度 総会への出席

期 日：平成 25 年 6 月 30 日（日） 場所：茨城県立医療大学

本会推薦世話人：森田英隆氏

-事業案内-

（公社）茨城県看護協会・北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会との 共同介護予防事業開催のお知らせ

昨年度から始まって、今回で 4 回目の開催となります。今年度は、昨年 10 月からちょうど 1 年後の開催となり、教室参加者の体力・体調に関するフォローアップを実施していく予定です。平日の開催ではございますが、県内会員の皆様、そして特に近隣地域の会員の皆様には、ぜひとも広報・ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。お手伝いを希望される会員の方がいらっしゃいましたら、ぜひともお声掛けください。

日時：平成 25 年 10 月 8 日（火）13：30～16：00

場所：北茨城市 市民ふれあいセンター

対象：北茨城市シルバーリハビリ指導士会が実施する体操教室の参加者

内容：看護師による健康相談・血圧測定

理学療法士による体力測定及びカウンセリング・理学療法相談・1 年後の支援

（北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会の実施する体操教室後に実施予定）

〈公益事業推進部より〉

公益事業推進部部长 村田康成（介護老人保健施設サン・テレーズ）

介護予防キャラバン事業「第 49 回いばらき看護の祭典」

報告者：高木和宏（北茨城市立総合病院）

5 月 11 日、つくば国際会議場にて開催された第 49 回いばらき看護の祭典イベントにおける介護予防キャラバン事業に部員として参加しました。当日体力測定およびリハビリ相談に子供から高齢者までの 74 名の方が参加され、私は体力測定を担当しました。部員として参加した初めての事業であり、日常業務とは違った形で県民のみなさまと触れ合う貴重な機会となりました。



「理学療法の日」作文コンクール事業

—表彰式を終えて—

報告者：佐川真美（筑波記念病院）

7月20日に平成25年度「理学療法の日」作文コンクール表彰式が執り行われました。今回のテーマは「理学療法に想うこと」でした。多くの方々のご協力もあり、「中・高校生の部」、「一般の部」を合わせて148通の応募を頂きました。ありがとうございました。

148通の作文の中から、最優秀賞2点、優秀賞4点、佳作6点が選ばれました。表彰式には受賞者、受賞者のご家族、関係者の方々にご出席いただき、表彰式会場には笑顔が溢れていました。

作文の多くは、実際の理学療法の体験、経験をもとに、理学療法士に対する感謝の想いが込められているように感じました。身体だけでなく、気持ちに寄り添う理学療法士の姿勢が表されていました。また理学療法との関わりの中で、自らも理学療法士を志す内容の作文もありました。一方で、これからの理学療法における課題を提示した作文もありました。受賞者からも「自宅でも出来るリハビリの説明があまりなく、リハビリの時間しかリハビリが出来ない人が多い」とのお言葉がありました。長年、理学療法を受けられている患者様のご家族だからこそ抱く、理学療法に対する理解と期待を感じることが出来ました。このようなお言葉を頂ける機会は貴重でした。148通の作文の内容を今後の診療場面の励みとする一方で、改めて自己を振り返り、患者様と向き合っていこうと思わせてもらえる表彰式でした。



<会長行動・事業等報告（7月1日～8月20日）>

下記以外は所属施設にて従事

- 7月 1日 第1回県立医療大学付属病院の経営改善に向けた検討会/委員（医療大付属病院）
- 7月 6日 第22回(株)日立製作所茨城病院センターリハビリテーション学会/共催
- 7月 6日 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー臨床実習指導者会議/講師（金沢）
- 7月 9日 士会公益社団法人移行祝賀会打合せ（水戸事務所）
- 7月11日 日本理学療法士協会会長・副会長会議（田町 CR）
- 7月11日 「慢性期リハビリテーション協会」設立準備会/協会副会長（東京研修センター）
- 7月11日 茨城県訪問リハビリテーション協議会35回事例検討会/事務局長（筑波記念病院）
- 7月12日 茨城県医療推進協議会/会員（茨城県医師会）
- 7月13日 協会第4回業務執行理事会（田町 CR）
- 7月14日 協会第4回理事懇談会・生涯学習業務執行委員会会議（田町 CR）
- 7月16日 つくば市障害者自立支援懇談会（つくば市役所）
- 7月18日 つくば保健医療圏地域リハビリテーション平成25年度連絡協議会（筑波メディカルセンター病院）
- 7月20日 士会公益社団法人移行祝賀会（茨城県保健衛生会館）
- 7月22日 第1回高次脳機能障害者支援システム整備協議会/委員（県リハセンター）
- 7月23-28日 回復セラピストマネジャーコース研修会/PTOTST 委員長（三田 NN ホール）
- 7月24日 平成25年度 第1回筑西保健所管内在宅医療連携推進会議（茨城県筑西保健所）
- 7月29日 第2回県立医療大学付属病院の経営改善に向けた検討会/委員（医療大付属病院）
- 7月30日 第2回県南脳卒中医療連携セミナー世話人会・研修会（JAとりで）

- 7月31日 第6回つくば高次脳機能障害者支援ネットワーク会議（筑波記念病院）
- 8月 1日 第17回茨城県理学療法士学会第1回運営会議/学会長（水戸事務所）
- 8月 2日 回復期リハ病棟協会第2回三役会・PTOTST 研修会委員会・理事会（品川）
- 8月 3日 第2回士会業務執行理事会（筑波メディカルセンター病院）
- 8月 4日 TPPを考えるフォーラム/茨城県医療推進協議会主催（茨城県医師会）
- 8月 5日 茨城県庁挨拶周り（茨城県庁）
- 8月 7日 士会社会職能局部長ミーティング（つくば市）
- 8月 8日 協会常任理事会（田町CR）
- 8月 9日 茨城県訪問リハビリテーション協議会36回事例検討会/事務局長（牛尾病院）
- 8月18日 第54回 つくば地域リハ・セミナー第17回事例検討会（筑波記念病院）

＜会長としての他団体委員会出席報告（7月1日～8月20日）＞

1) 茨城県医療推進協議会

7月12日に茨城県医師会にて開催され、出席しました。年に1-2回開催される県内医療専門職の団体会員で構成される協議会です。会長は小松満氏（県医師会会長）、副会長は歯科医師会、薬剤師会、看護協会の各会長です。TPPに関する意見交換後、臨床工学技士の参加が承認されました。

2) 第1回高次脳機能障害者支援システム整備協議会

7月22日に茨城県リハビリテーションセンターにて開催され、出席しました。年に2回開催される協議会です。会長は山川百合子氏（茨城県立医療大学）、副会長は鈴木邦彦氏（志村大宮病院）です。高次脳機能障害者支援コーディネーターへの相談件数が増えていることが報告されました。

3) 第1回筑西保健所管内在宅医療連携推進会議

7月24日に茨城県筑西保健所にて開催され、出席しました。3年前から年に1-2回の頻度で保健所が調整して開催している会議です。士会長の立場で今年度よりお声かけ頂きました。人口減少、高齢・独居・認知症といった問題がサービス受給者・提供者の側にあることなどが報告されました。

4) 県立医療大学付属病院の経営改善に向けた検討会

7月1日に第1回、7月29日に第2回を茨城県立医療大付属病院で開催され、委員として出席しました。2回で終了の検討会で、委員長は伊佐地隆氏（帝京大学）、副委員長は軸屋智昭氏（筑波メディカルセンター病院）です。教育・臨床・研究・地域貢献の切り口から様々検討されました。理学療法士を含むセラピストの定員増加については合意されました。

4. 士会・協会主催研修会

公益社団法人 茨城県理学療法士会主催 専門領域研修会「管理・運営研修会」

研修名：茨城県理学療法士会 専門領域研修会「管理・運営研修会」

主催：公益社団法人 茨城県理学療法士会主催

内容：職場におけるリハビリテーション部門の教育と管理について基礎から学ぶ研修会です。

専門・認定理学療法士に関わるポイント：10ポイント

期日：平成25年11月16日(土)、17日(日)

研修会受講費：6000円（公益社団法人茨城県理学療法士会会員4000円）

会場：茨城県立医療大学 112 中講義室

研修会日程（予定）：

1日目(11月16日)	9:30-解錠
10:00-10:30	1日目受付
10:30-12:00	講義1 応用行動分析学を用いた行動マネジメント 講師 了徳寺大学 健康科学部 加藤 宗規先生
12:00-13:00	昼休み
13:00-14:30	講義2 応用行動分析学に基づく問題解決の実践 講師 了徳寺大学 健康科学部 理学療法学科 教授 加藤 宗規先生
14:40-16:10	講義3 職場管理に求められるマネジメント・スキル 講師 浜松大学 保健医療学部 保村 譲一先生
2日目(11月17日)	9:00-解錠
9:30-10:00	2日目受付
10:00-11:30	講義1 職場で求められる理学療法士の実践管理能力 講師 医療法人社団輝生会、医療法人財団新誠会 森本 榮先生
11:30-12:30	昼休み
12:30-14:00	講義2 職場管理の実践一質の管理としての教育システムについて一 講師 医療法人社団輝生会 伊藤 隆夫先生
14:10-15:40	講義3 明日から実践一階層別・課題別・職能別管理運営の実際例(仮) 講師 筑波記念病院 斉藤 秀之先生

送信先 FAX (029-353-8475)

管理運営研修会参加申込書

代表者氏名: _____

所属勤務先名称: _____

電話番号: _____

参加者申込氏名

会員番号	氏名(フリガナ)	職種	連絡先(メールアドレス)

〆切:平成25年11月1日まで

<お問い合わせ先>

(公社)茨城県理学療法士会 水戸事務所

河野

s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp

学会・研修会名	日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） 臨床に役立つ物理療法の基本的な考え方ー疼痛・関節可動域・神経筋機能障害・ 創傷を中心にー
日時（受付開始時間）	2013年11月3日（日）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県保健衛生会館
内容	物理療法と疼痛基礎知識・関節可動域制限の基礎知識・創傷治癒基礎知識・神 経筋機能障害の基礎知識を学び、専門分野 物理療法を、理学療法士の知識とし て深める。
講師名	菅原仁(東京工科大学)、日比野至(名古屋学院大学) 田中直樹(筑波記念病院)、山口智史(慶應義塾大学大学院)
受講費	2,000円
定員	80名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2013年4月1日～10月20日
申込方法	日本理学療法士協会 HP マイページからの事前申し込みとなります。
問合せ先	つくばセントラル病院 総合リハビリテーションセンター 千葉浩市（E-Mail：ibarakikousyuukai@pt-ibaraki.jp）
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

スケジュール（予定）

8：20-	受付開始
9：00-10：30	講義 1 疼痛の基礎知識と物理療法 講 師 菅原仁先生（東京工科大学）
10：40-12：10	講義 2 関節可動域制限の基礎と物理療法 講 師 日比野至先生（名古屋学院大学）
12：10-13：00	昼休み
13：00-14：30	講義 3 創傷治癒の基礎知識と物理療法 講 師 田中直樹先生（筑波記念病院）
14：40-16：10	講義 4 神経筋機能障害の基礎知識と物理療法 講 師 山口智史先生（慶應義塾大学大学院）

学会・研修会名	日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） 慢性閉塞性肺疾患患者への呼吸リハビリテーションの基礎と臨床
日時（受付開始時間）	2013年11月9日（土）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県立医療大学
内容	当講習会では、COPD 患者様への呼吸リハに必要な基礎的知識、評価・治療、 呼吸リハ・チームの構成と役割分担、COPD 予防（禁煙）における PT の役割 について学習する。
講師名	飯塚真喜人(茨城県立医療大学)、富田和秀(茨城県立医療大学) 堀江健夫(前橋赤十字病院)、高橋晃弘(アール医療福祉専門学校)

受講費	2,000 円
定員	80 名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2013 年 4 月 1 日～10 月 26 日
申込方法	日本理学療法士協会 HP マイページからの事前申し込みとなります。
問合せ先	神立病院 加藤行一 (E-Mail : ibarakikousyuukai@pt-ibaraki.jp)
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

スケジュール（予定）

9：00-9：25	受付
9：40-11：00	講義 1 呼吸リハのための生理 講 師 飯塚眞喜人先生（茨城県立医療大学）
11：10-12：10	講義 2 COPD 患者の評価-治療-再評価の手順 1 講 師 富田和秀先生（茨城県立医療大学）
12：10-13：10	昼休み
13：10-14：10	講義 3 COPD 患者の評価-治療-再評価の手順 2 講 師 富田和秀先生（茨城県立医療大学）
14：20-15：50	講義 4 呼吸リハビリテーションにおけるチーム医療と PT の役割 講 師 堀江健夫先生（前橋赤十字病院）
16：00-17：00	講義 5 治療から予防へ（PT の役割） 講 師 高橋晃弘先生（アール医療福祉専門学校）

[平成 25 年度 第 15 回研修会]（決定版）

テーマ	C-2 運動器疾患の理学療法
日 時	平成 25 年 9 月 8 日（日） 受付 9：00～ 研修会 10：00～11：00
講 師	土浦協同病院 橋本貴幸 先生
参加費	2,000 円 （茨城県理学療法士会会員の場合 1,000 円を理学療法士会で負担しますので実質 1,000 円となります）
会 場	茨城県鹿行生涯学習センター 茨城県女性プラザ
単位認定	≪新人教育プログラム≫：C-2 運動器疾患の理学療法 ＊ 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 ＊ 新入会員や会員証がお手元にはない方は受付用紙にご記入いただきます。
備考	下部欄外を必ずご確認ください。

[平成25年度 第16回研修会] (決定版)

テーマ	C-3 内部障害の理学療法
日時	平成25年9月8日(日) 受付 9:00~ 研修会 11:10~12:10
講師	水戸協同病院 リハビリテーション科 中川義嗣 先生
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質1,000円となります)
会場	茨城県鹿行生涯学習センター 茨城県女性プラザ
単位認定	<p>《新人教育プログラム》: C-3 内部障害の理学療法</p> <ul style="list-style-type: none"> * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元にはない方は受付用紙にご記入いただきます。
備考	下部欄外を必ずご確認ください。

[平成25年度 第17回研修会] (決定版)

テーマ	E-1 臨床実習指導方法論
日時	平成25年9月8日(日) 受付 12:30~ 研修会 13:10~14:10
講師	つくばセントラル病院 浅野信一 先生
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質1,000円となります)
会場	茨城県鹿行生涯学習センター 茨城県女性プラザ
単位認定	<p>《新人教育プログラム》: E-1 臨床実習指導方法論</p> <ul style="list-style-type: none"> * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元にはない方は受付用紙にご記入いただきます。
備考	下部欄外を必ずご確認ください。

[平成25年度 第18回研修会] (決定版)

テーマ	E-3 国際社会と理学療法
日時	平成25年9月8日(日) 受付 12:30~ 研修会 14:20~15:20
講師	アール医療福祉専門学校 ジャンチャンキュ 先生
参加費	2,000円 (茨城県理学療法士会会員の場合 1,000円を理学療法士会で負担しますので実質1,000円となります)

	1,000 円となります)
会 場	茨城県鹿行生涯学習センター 茨城県女性プラザ
単位認定	≪新人教育プログラム≫：E-3 国際社会の理学療法 * 当日は協会会員証をご持参頂き、受付の際に案内をご確認下さい。 * 新入会員や会員証がお手元にない方は受付用紙にご記入いただきます。
備考	下部欄外を必ずご確認ください。

<備考>

- ・新人教育プログラム研修会は専門・認定に関わるポイントの認定はございません。予めご了承ください。
- ・館内は飲食禁止です。
- ・会場内での飲食は禁止となっています。その為、当日の昼食の持ち込みは行えません。弁当を事前に注文された方は会場内のレストランにて昼食をとることが可能です。
※事前に注文される場合は①施設名②ご連絡先③弁当希望者人数④弁当希望者名（フルネーム）を明記の上、できる限り所属施設でまとめて、8月31日にまでに下記アドレスへ御連絡下さい。
E-Mail Address: ibarakikousyuukai@pt-ibaraki.jp
※駐車場の台数に限りがある為、可能な限り御乗り合わせ頂ければ幸いです。
お問い合わせ：生涯学習部 菅谷友美
電話：0299-82-9552
E-Mail Address: ibarakikousyuukai@pt-ibaraki.jp

DVD研修会開催予定一覧 (平成25年8月25日現在)

県西地区

<日時・開催会場一覧> 開始時間①18:30~②19:30~ (1テーマ約60分)

テーマ	茨城西南医療センター病院	総和中央病院	古河病院
A-1 理学療法と倫理	平成25年10月15日(火)①		
A-2 協会組織と生涯学習システム		平成25年10月3日(木)①	
A-3 リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)		平成25年10月3日(木)②	
A-4 人間関係および接遇(労働衛生含む)		平成25年10月3日(木)②	
A-5 理学療法における関連法規(労働法含む)	平成25年10月15日(火)②		
B-2 クリニカルリーズニング			平成25年11月6日(水)①
B-3 統計方法論		平成26年3月6日(木)①	
B-4 症例報告・発表の仕方		平成25年12月5日(木)①	
C-4 高齢者の理学療法		平成25年12月5日(木)②	
C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)		平成26年3月6日(木)②	
C-6 症例発表			
D-1 社会の中の理学療法	平成26年1月14日(火)①		
D-2 生涯学習と理学療法の専門領域			平成25年11月6日(水)②
D-3 理学療法の研究方法論(EBPT含む)			平成25年11月6日(水)②
E-1 臨床実習指導方法論			平成26年2月5日(水)①
E-3 国際社会と理学療法			平成26年2月5日(水)②

テーマ	協和中央病院	城西病院	結城病院
A-1 理学療法と倫理		平成25年10月9日(水)①	
A-2 協会組織と生涯学習システム		平成25年9月25日(水)①	
A-3 リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)		平成25年9月25日(水)②	
A-4 人間関係および接遇(労働衛生含む)		平成25年9月25日(水)②	
A-5 理学療法における関連法規(労働法含む)		平成25年10月9日(水)②	
B-2 クリニカルリーズニング	平成26年1月23日(木)①		
B-3 統計方法論			平成26年2月6日(木)①
B-4 症例報告・発表の仕方			平成25年11月6日(水)①
C-4 高齢者の理学療法			平成25年11月6日(水)②
C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)			平成26年2月6日(木)②
C-6 症例発表			
D-1 社会の中の理学療法			平成25年11月20日(水)①
D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	平成25年10月25日(金)①		
D-3 理学療法の研究方法論(EBPT含む)	平成26年1月23日(木)①		
E-1 臨床実習指導方法論	平成26年1月23日(木)②		
E-3 国際社会と理学療法	平成25年10月25日(金)②		

県南地区

<日時・開催会場一覧> 開始時間①18:30~②19:30~(1テーマ約60分)

テーマ	筑波記念病院
A-1 理学療法と倫理	平成25年10月10日(木)①
A-2 協会組織と生涯学習システム	平成25年10月5日(土)②
A-3 リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)	平成25年10月3日(木)①
A-4 人間関係および接遇(労働衛生含む)	平成25年10月5日(土)①
A-5 理学療法における関連法規(労働法含む)	平成25年10月10日(木)②
B-2 クリニカルリーズニング	平成25年10月17日(木)②
B-3 統計方法論	平成25年11月21日(木)②
B-4 症例報告・発表の仕方	平成25年11月8日(金)①
C-4 高齢者の理学療法	平成25年10月24日(木)①
C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)	平成25年11月22日(金)②
C-6 症例発表	
D-1 社会の中の理学療法	平成25年11月8日(金)②
D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	平成25年10月17日(木)①
D-3 理学療法の研究方法論(EBPT含む)	平成25年11月22日(金)①
E-1 臨床実習指導方法論	平成25年11月15日(金)①
E-3 国際社会と理学療法	平成25年11月21日(木)①

*都合により変更されることもございます。土会HPをご確認ください。
*今後、各地区ブロックでの開催を順次調整していく予定です。

“絆”～あきらめないリハビリテーションの
普及を目指して～

訪問リハビリテーション フォーラム 2013

とき 平成 25 年 9 月 21 日 (土)
10:00 ~ 16:55 (受付開始 9:15)

ところ 日本消防会館 (ニッショーホール)
東京都港区虎ノ門2丁目9番16号
※東京メトロ「虎ノ門」駅 2番・3番出口徒歩5分

参加費 **1,000 円** (定員: 700 人)
※どなたでもご参加いただけます



特別講演: 徳光 和夫 氏

今回「訪問リハビリテーションの現状とこれからの姿」を知っていただくとともに私達
が取り組んでいる東日本大震災特別区域における訪問リハビリ事業所報告を行います。
医療・保健・福祉関連職種の方々はもちろんのこと、一般の方々もご参加いただけます。
多数のご参加をお待ち申し上げます。

主催 / (公社) 日本理学療法士協会・(一社) 日本作業療法士協会・(一社) 日本言語聴覚士協会

主催：(公社)日本理学療法士協会・(一社)日本作業療法士協会・(一社)日本言語聴覚士協会

訪問リハビリテーション フォーラム 2013

プログラム

■開会の挨拶 (10:00~10:10)

半田 一登 氏 (公益社団法人 日本理学療法士協会・会長)

■講演 (10:10~11:30)

「地域包括ケアシステムとリハビリテーション(仮)」

厚生労働省

■シンポジウム (13:00~15:00)

「あきらめないリハビリテーションへの期待」

・南相馬 浜通り訪問リハビリステーションの活動を通して

三協会の思い(理念) …………… 松井 一人 氏 (訪問リハビリテーション振興財団・事務局長 理学療法士)

現場からの実践報告 …………… 安倍 ちひろ 氏 (浜通り訪問リハビリステーション・所長 理学療法士)

・浜通り訪問リハビリステーションへの期待

医師の立場から …………… 根本 剛 氏 (南相馬市立総合病院 在宅診療科 医師)

訪問看護師の立場から …………… 志賀 早苗 氏 (医療法人伸裕会 訪問看護ステーションゆうゆう 看護師)

介護支援専門員の立場から …… 松本 貴之 氏 (社会福祉法人南相馬福祉会 福寿園居宅介護支援センター ケアマネジャー)

■特別講演 (15:15~16:45)

「もう泣かない!!リハビリテーションと健康管理の必要性~あきらめない心と絆~」

徳光 和夫 氏 (フリーアナウンサー・タレント)

■閉会の挨拶 (16:45~16:55)

山口 和之 氏 (参議院議員 理学療法士)

お申し込み

FAX または事務局代行 合同会社 gene (ジーン)のホームページよりお申し込みが可能です。

(www.gene-llc.jp もしくは 検索サイトにて合同会社 gene と検索)

携帯電話にて右記QRコードからのお申し込みも可能です。



お申し込みQRコード

訪問リハビリテーションフォーラム2013 申込用紙 FAX:052-911-2803

お名前	フリガナ	職種	
			TEL.
ご勤務先	フリガナ	連絡先	FAX.
			mail.

※必要事項をご記入のうえ、FAXをお送り下さい。

事務局

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-8-5 HP:www.hvrpf.jp

お問い合わせ

事務局代行 合同会社 gene (ジーン) 担当:北澤 伸

〒462-0059 愛知県名古屋市中区駒止町二丁目52番地 リベルテ黒川1階A号室

HP: www.gene-llc.jp E-mail: kita@gene-llc.jp TEL:052-911-2800 FAX:052-911-2803

※フォーラムに関するご質問などは、合同会社 gene が一括して受け付けております。

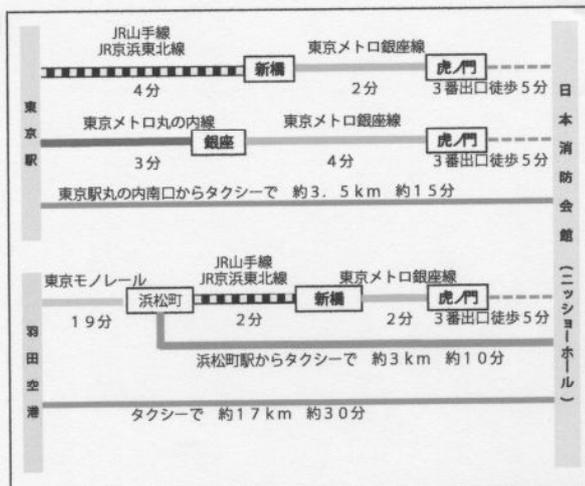
訪問リハビリテーションフォーラム 2013 会場のご案内

日 時：平成 25 年 9 月 21 日（土）
10：00～16：55（受付開始 9：15）
会場名：日本消防会館（ニッショーホール）
住 所：東京都港区虎ノ門2丁目9番16号



■ アクセス

- 東京メトロ銀座線
虎ノ門下車 2番・3番出口徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線
神谷町下車 4番出口徒歩10分



5. 各種研修会・イベント案内

平成25年度 茨城県介護・リハビリテーション施設研修会（第1報）

昨年からのシリーズ第3弾！現場で不可欠な知識とその対応をわかりやすくご講演いただきます。「施設の質」「職員の質」向上に役立てていただきますよう、皆様奮ってご参加下さい。

日時：平成25年10月12日（土）13：30～17：30

場所：つくば国際会議場 中ホール200

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-31 TEL：029-861-0001 FAX：029-861-1209

※周辺の有料駐車場をご利用下さい。駐車料金は自己負担となります。

高齢者介護 急変時対応マニュアル（講談社）編著者

講師：美濃良夫 先生（阪和住吉総合病院副院長、日本褥瘡学会評議員）

対象：介護福祉士を含む介護およびリハビリテーションに携わる全ての方

参加費：500円（資料代、終了後の意見交換会費を含みます）

定員：200名

申込方法：申込用紙に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込み下さい

9月30日（月）必着。但し、定員になり次第締切とさせていただきます。

定員に達し、ご参加いただけない方には事務局よりご連絡いたします。

<プログラム>

受付開始 13：00

開会挨拶 13：30～13：35 大田仁史 先生（茨城県リハビリテーション病院懇話会会長）

講演 13：35～15：35

こんな時どうする？

介護現場でいまさら聞けない利用者の身体アセスメントと急変時の対応

～ 第3回 「浮腫・腫脹」「呼吸困難」を中心に ～

講師：美濃良夫 先生（阪和住吉総合病院副院長、日本褥瘡学会評議員）

座長：大場正二 氏（一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会副会長）

閉会挨拶 15：35～15：40

意見交換会 16：00～17：30

（場所：中ホールすぐ横ホワイエ、飲み物、軽食を用意いたします）

主催：茨城県介護老人保健施設協会・茨城県介護福祉士会・茨城県リハビリテーション病院懇話会
茨城県地域リハビリテーション研修推進支援センター

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム：「C-5 地域リハビリテーション」

<お問い合わせ先>

茨城県地域リハビリテーション研修推進支援センター

筑波記念病院 リハビリテーション部 金森毅繁・飯島弥生・武田頼子

TEL：029-864-1212（内線5294、PHS6807・6711） FAX：029-877-4688（直通）

返信先 FAX：029-877-4688
筑波記念病院リハビリテーション部 飯島・武田 宛

平成25年度 茨城県介護・リハビリテーション施設研修会
参加申込書

9月30日（月）までにお申し込みください。但し、定員になり次第締切とさせていただきます。
定員に達し、ご参加いただけない方には事務局よりご連絡いたします。

1. 所属勤務先名称 _____

電話 _____ FAX _____

2. 参加申込者氏名

	氏名	職種
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

※用紙が足りない場合はお手数ですがコピーしてご使用下さい

第26回いばらき医療福祉研究集会・第7回いばらき歯科医療フォーラム

開催期日：平成25年10月27日（日）午前9時30分～午後4時30分

本会生涯学習システムに関する認定事項

新人教育プログラムの認定単位

参加者：C-5地域リハビリテーション

発表者：C-6症例発表

専門・認定理学療法士に関わるポイント

参加者：10ポイント、

発表者：参加ポイント+5ポイント

**日立地域リハビリ懇話会新人症例発表会（第86回日立地域リハビリ懇話会）
演題募集のお知らせ（第2報）**

日時：2013年12月4日（水）18:30～20:30

場所：(株)日立製作所ひたちなか総合病院 2階 講堂

内容：症例報告発表会（発表7分・質疑応答7分、詳細は別紙参照）

対象：本年度入職の新人理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

主 催：(株)日立製作所茨城病院センターリハビリテーション管理グループ
日立地域リハビリ懇話会
担 当：(株)日立製作所ひたちなか総合病院リハビリテーション科
共 催：(公社)茨城県理学療法士会（予定）／(一社)茨城県作業療法士会（予定）
茨城県指定地域リハ・ステーションひたちなか総合病院
後 援：茨城県言語聴覚士会（予定）
茨城県指定地域リハビリテーション広域支援センター多賀総合病院

《演題募集要項》

1. 応募方法
演題申し込み書を利用、必要事項を記入してFAXまたはメールで提出
 2. 発表形式
口述発表（発表時間7分・質疑応答7分）、パワーポイント使用
 3. 演題申込締切日 2013年10月18日（金）
 4. 抄録集用原稿
形 式 A4版1頁2段組み（メールで提出）
内 容 演題名、所属、氏名、キーワード、本文
締切日 2013年11月22日（金）
 5. パワーポイントの締切日 2013年11月29日（金）
 6. 各種提出物提出先および問い合わせ先
(株)日立製作所ひたちなか総合病院リハビリテーション科主任 佐藤誠
TEL 029-354-6272（リハビリテーション科直通）
FAX 029-354-6291（リハビリテーション科直通）
E-mail makoto.sato.wt@hitachi.com
2013年度(株)日立製作所茨城病院センターリハ管理グループ・日立地域リハビリ懇話会
新人症例発表会（第86回日立地域リハビリ懇話会）演題申込書／社外用
FAX：029-354-6291 E-mail：makoto.sato.wt@hitachi.com
(株)日立製作所ひたちなか総合病院リハビリテーション科 佐藤 誠 宛（締切厳守）
- 演題申込締切日：2013年10月18日
（金）演 題 名

発表者氏名

施設・所属部署名

連絡先TEL

演題名	
発表者氏名	
施設・所属部署名	
連絡先TEL	

【単位認定／予定】

茨城県理学療法士会会員 発表者：新人教育プログラム「C-6 症例発表」、
参加者：新人教育プログラム「B-4 症例報告・発表の仕方」
茨城県作業療法士会会員 発表者：「現職者共通研修受講記録 2」または
基礎ポイント 2 ポイント、参加者：「基礎研修受講記録」2 ポイント

第 17 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会

テーマ：地域包括ケアシステムと他職種協働
大会長：鈴木邦彦（医療法人博仁会 志村大宮病院）
会 期：平成 25 年 12 月 1 日（日）
会 場：茨城県メディカルセンター
本会生涯学習システムに関する認定事項
新人教育プログラムの認定単位：参加者：「C-5 地域リハビリテーション」
発表者のみ：「C-6 症例発表」

第 12 回認知症フォーラム in いばらき

開催期日：平成 25 年 12 月 8 日（日）13：00～16：45
会 場：東海文化センター
那珂郡東海村船場768-1
TEL 029-282-8511

第 23 回茨城県がん学会

開催期日：平成 26 年 2 月 2 日（日）9：00～16：00
会 場：筑波大学春日キャンパス
本会生涯学習システムに関する認定事項
新人教育プログラム：「C-5 地域リハビリテーション」
発表者のみ：「C-6 症例発表」

6. 求人広告

引き続き急募！！

茨城県理学療法士会北茨城地域自立支援センター ボランティア募集

茨城県理学療法士会 斉藤秀之

今までに2名の応募をいただき有難うございました。

今後在宅での療養者が増加することが予測されており、自立した生活を支援する訪問リハビリテーションサービスの必要性が望まれています。他の居宅サービスと比べて事業所は圧倒的に少なく、地域格差も大であります。また様々な在宅でのリハニーズに対する相談機能も現状では十分とは言えません。そのため、北茨城市での訪問理学療法ステーションの実現に向けて北茨城市、北茨城市立総合病院のご理解のもと、北茨城市立総合病院敷地内に「茨城県理学療法士会北茨城地域自立支援センター」を開設し、平日午後理学療法士が1名専従で常駐しています。

これは、公益社団法人日本理学療法士協会が提唱している「地域自立支援センター」のモデル事業として日本で最初の展開です。まずは、北茨城市の住民や関係機関が共同利用できる、①関連会議への参加、センターでの相談・調整活動、②関係施設に向いての健康支援・介護・障害予防活動、③協力病院と協力して家屋に向く訪問リハビリテーションなどを主な活動と考えています。

このような取り組みを成功するためには、専従理学療法士のみでは対応が難しくなることは予測できます。北茨城市でのモデルを県内全市町村で実現するためにも、リハ関連3団体の会員の力を今こそ結集して頂きたいと思っています。

また、本年度は茨城県より平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業の10実施団体の1つとして本会が事業を北茨城市で展開することになりました。この事業としても週1日程度活動して頂ける方を4名程度必要です。現時点で、十分な応募がありませんので、ボランティアも引き続き募集致します。下記水戸事務所までご連絡ください。

実施期間は平成25年度で、申し込み締め切りは平成25年9月30日(月)とします。応募頂いた際には、時期を見てご説明をさせていただきますが、原則として1日及び半日単位のボランティアをお願いする予定です。多くの方のご応募をお待ちしております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

<お問い合わせ・申し込み>

公益社団法人茨城県理学療法士会 水戸事務所 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35
茨城県保健衛生会館 1階 TEL:029-353-8474 FAX:029-353-8475

提出日 平成 年 月 日

異動届

会長 殿

この度、私は下記の通り変更がありましたので異動届をお届け致します。

会員番号(8桁)			
異動日	平成	年	月 日
所属県	県内異動	士会所属	
	県外異動	士会所属から 士会所属へ	
会員区分	勤務先会員 ・ 自宅会員 ・ 海外会員		
変更事項	改姓 ・ 自宅住所 ・ 勤務先 ・ その他()		
入会年度	(西暦)	年度	<small>【海外会員:勤務先あるいは自宅が海外の方のみ】 海外会員は下記の項目を必ず記載してください。 ・海外住所(海外勤務先・海外自宅) ・国内住所(何らかの連絡が取れる住所) ・Eメールアドレス</small>
新人教育プログラムの終了	済	未	
氏名	フリガナ	(セイ) (メイ)	旧姓
	漢字	(姓) (名)	
携帯番号	- -		
自宅	郵便番号	-	
	住所		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
勤務先	フリガナ		
	施設名		
	所属部署		
	郵便番号	-	
	住所		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
	施設区分 I	-	施設区分 II
日本理学療法士協会 郵送物送付先	勤務先会員 ・ 自宅 ・ 海外勤務先 ・ 海外自宅		
日本理学療法士協会 会員名簿への記載	希望する ・ 希望しない		<small>*自宅会員は"自宅"以外の送付先は選択できません。 *刊行物の郵送先は都道府県理学療法士会とは異なる場合がございます。 *会員名簿への記載は都道府県理学療法士会とは異なる場合がございます。</small>
会費納入	年度納入済		<small>*未納会費がある場合は、提出前に所属都道府県理学療法士会へお問い合わせください。</small>
連絡事項			

<都道府県理学療法士会 確認欄>

_____ 理学療法士会事務局長 _____ 印 平成 年 月 日

<個人情報について>

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員情報は調査などにも用いる場合がございます
4. 日本理学療法士協会および都道府県理学療法士会の間で個人情報を総合利用致します

提出日 平成 年 月 日

休会届(新規・継続)

会長 殿

この度、私 以下の理由により日本理学療法士協会を休会致しますのでお届けします。

休会日	平成 年 月 日	
休会理由		
会員番号(8桁)		
所属県	士会所属	*所属都道府県理学療法士会と自宅住所の県が異なる場合は、別途「異動届」の提出が必要となります。
入会年度	(西暦) 年度	
新人教育プログラムの終了	済 ・ 未	
氏名	フリガナ (セイ) (メイ)	
	漢字 (姓) (名)	
携帯番号	— —	
自宅	郵便番号	—
	住所	
	電話番号	— —
	FAX番号	— —
会費納入	年度納入済	*未納会費がある場合は、提出されても無効となります。提出前に日本理学療法士協会もしくは所属都道府県理学療法士会へ納入方法をお問い合わせください。
連絡事項		

<都道府県理学療法士会 確認欄> 上記の者の休会を承知致します。

_____ 理学療法士会事務局長 _____ 印 平成 年 月 日

■注意事項

・休会期間は1年単位となります。

休会期間は4月1日から翌年3月31日までとなり、年度途中の休会も終期は3月31日となります。

・年度末までに復会・休会継続・退会いずれかの手続きが必要となります。年度末までに手続きがない場合、規定により退会となります。

・「休会継続」手続きのみ下記期間に申請をお願いいたします。

【休会継続申請受付期間】 ①Web申請・②書類による申請(士会事務局へ必着) … 1月1日～3月31日まで

・再度入会をする場合は、入会金・入会手続きが必要となります。

・当年度分までの会費の納入が確認できない場合は、届出は受理出来ません。(※当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。)

・休会中の自宅住所変更等については、異動届にて手続きしてください。

<個人情報について>

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

- 1.名簿管理・発行
- 2.協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
- 3.会員情報は調査などにも用いる場合がございます
- 4.日本理学療法士協会および都道府県理学療法士会の間で個人情報を総合利用致します

提出日 平成 年 月 日

復会届

会長 殿

この度、私は以下の理由により日本理学療法士協会を休会中のところ復会致しますのでお届けします。

休会開始年度	(西暦) 年度
休会届提出先 県士会	士会
復会日	平成 年 月 日
復会理由	

会員番号(8桁)		
所属県	士会所属	<small>*休会中の都道府県理学療法士会と異なると異なる場合は、別途「異動届」の提出が必要となります。</small>
会員区分	勤務先会員 ・ 自宅会員 ・ 海外会員	
入会年度	(西暦) 年度	<small>【海外会員:勤務先あるいは自宅が海外の方のみ】 海外会員は下記の項目を必ず記載してください。 ・海外住所(海外勤務先・海外自宅) ・国内住所(何らかの連絡が取れる住所) ・Eメールアドレス</small>
新人教育プログラムの終了	済 ・ 未	

氏名	フリガナ	(セイ) (メイ)	旧姓	
	漢字	(姓) (名)		
携帯番号		—		

自宅	郵便番号	—
	住所	
	電話番号	— —
	FAX番号	— —

勤務先	フリガナ		
	施設名		
	所属部署		
	郵便番号	—	
	住所		
	電話番号	— —	
	FAX番号	— —	
	施設区分 I	—	施設区分 II

日本理学療法士協会 郵送物送付先	勤務先会員 ・ 自宅 ・ 海外勤務先 ・ 海外自宅
------------------	---------------------------

日本理学療法士協会 会員名簿への記載	希望する ・ 希望しない	<small>*自宅会員は“自宅”以外の送付先は選択できません。 *刊行物の郵送先は都道府県理学療法士会とは異なる場合がございます。 *会員名簿への記載は都道府県理学療法士会とは異なる場合がございます。</small>
--------------------	--------------	---

連絡事項	
------	--

<都道府県理学療法士会 確認欄> 上記の者の復会を承認致します。

理学療法士会事務局長 印 平成 年 月 日

■注意事項

・年度途中の復会の場合は当年度会費全額納入が必要となります。(* 当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。)

<個人情報について>

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員情報は調査などにも用いる場合がございます
4. 日本理学療法士協会および都道府県理学療法士会の間で個人情報を総合利用致します

提出日 平成 年 月 日

退会届

会長 殿

この度、私は以下の理由により日本理学療法士協会を退会致しますのでお届けします。

退会日	平成 年 月 日		
退会理由			
会員番号(8桁)			
所属県	士会所属		
入会年度	(西暦) 年度		
新人教育プログラムの終了	済 ・ 未		
氏名	フリガナ <small>(セイ)</small> <small>(メイ)</small>	旧姓	
	漢字 <small>(姓)</small> <small>(名)</small>		
携帯番号	— —		
自宅	郵便番号	—	
	住所		
	電話番号	— —	
	FAX番号	— —	
会費納入	年度納入済	<small>*未納会費がある場合は、提出されても無効となります。 提出前に日本理学療法士協会もしくは所属都道府県理学療法士会へ 納入方法をお問い合わせください。</small>	
連絡事項			

<都道府県理学療法士会 確認欄> 上記の者の退会を承知致します。

_____ 理学療法士会事務局長 _____ 印 平成 年 月 日

■注意事項

- ・当年度分までの会費の納入が確認できない場合は、届出は受理出来ません。(※当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。)
- ・会員証カードは日本理学療法士協会へ返納してください。

【 会員証カードの返納先 】

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-8-5
日本理学療法士協会事務局 会員管理部 宛

会員管理・異動に関するお問い合わせは…

⇒水戸済生会総合病院 リハビリテーション科 高橋 千晶
kkanri@pt-ibaraki.jp

会費に関するお問い合わせは…

⇒茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部 中山 陽介
kaihi08@pt-ibaraki.jp

新人教育プログラムに関するお問い合わせは…

⇒つくばセントラル病院 リハビリテーション部 千葉 浩市
s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp

広報紙に関するお問い合わせは…

⇒いちほら病院 リハビリテーション部 森田 英隆
kouhou@pt-ibaraki.jp

編集後記

雑誌のお悩み相談コーナーに「部下の態度を改めさせたいが『結果を残しているから言われたくない』と言われ困っている」という相談内容がありました。職場のやりとりにおいてこのような場面は少なくても、思っている上司の方は多いのではないのでしょうか。

雑誌の回答には、「結果を出すのは当たり前」「周囲の人間に好感を持たれない人間が管理職に推薦されることは無い」と書いてありました。

学生時代はほぼ自動的に進級し、自動的に先輩になりましたが、社会は違います。自分がその職場で自己実現するためには、自身を良い方向に変える必要があります。

新入職員は早くそれに気付くことが大切であり、先輩や管理職はそれを前提とした振る舞いが必要ではないのでしょうか。

公益社団法人茨城県理学療法士会が「大人の集団」としてスタートをきった今、各職場においても大人の振る舞いを通じて皆さんが成長される事を願っております。

(会報編集部)

会員数：1648名

発行日：平成25年8月31日

発行人：公益社団法人 茨城県理学療法士会

代表者：齊藤 秀之

編集者：森田 英隆

事務局：〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号

茨城県保健衛生会館内

茨城県理学療法士会事務所

TEL 029-353-8474

FAX 029-353-8475

E-mail toiwases@pt-ibaraki.jp

